

# 16 理科 単元の整理 やった分だけ合格が近くなる！ 流水の作用

1 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

流水には3つの作用があります。1つは土地をけずる①( )作用、けずった土を運ぶ②( )作用、そして、運んだ土を積もらせる③( )作用です。

①       ②       ③

2 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

流水の作用の始まりは、雨が地面をたたくところから始まります。地面は雨水にたたかれやわらかくなり、流れやすくなります。そして、小さな流れを作るようになると、その働きは決定的なものとなります。特に山に降った場合には、川の流れのはばは①( )ですが、川のかたむきは②( )なので、川の底が深くけずられていきます。この強い③( )作用のために、その形から、④( )と呼ばれる深い谷が作られます。川の流れをおさえ、また水源や発電用にするために川の流れをせき止めて、⑤( )を作ることがあります。この⑥( )には、川の⑦( )作用によって運ばれる土砂を減らすために⑧( )と呼ばれるものを作ることがあります。森林にも、水を蓄える働きがあり、洪水防止に役立つので、⑨( )と呼ばれることがあります。

①       ②       ③

④       ⑤       ⑥

⑦       ⑧       ⑨

3 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

水は高い所から低い所へ流れます。川の始まりは、山の高い所にあり、雨が降ると水が流れ、雨が降ると同じところを流れる小さな地面のすじからはじまります。この小さなすじは、雨がふるった時だけにできますが、少しずつの水が集まって、常に水がある所や、地下にしみ込んで①( )になった水がわきだしたところが川の始まりとなります。川は、その様子から、上流・②( )・③( )に分けることができます。上流では、流れが速くそのため④( )作用が強く、深く刻まれた谷が多く見られます。

①       ②       ③

④

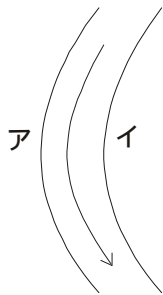
4 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

山から流れ出した川は、たくさんの石や砂を山から運び出していきます。平野に入るとそれまでは、急な流れであったものが①( )になるため、②( )作用が大きく働き始めます。そのため、粒の大きなものから③( )していきます。そのため、山から平野にでたところには、④( )と呼ばれるおうぎ形の地形が作られます。ここでは積もっているものの粒が⑤( )ので、水はけがよく、川の流れも水の少ないときには、水が地下だけを通り、水無川(みずなしがわ)となっているところもあります。

①       ②       ③

④       ⑤

5 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。



平野では川の流れはゆるやかになりますが、それでも流れの様子は少しずつですが変化していきます。左の図のような、川が曲がっているところでは、アの川の曲がりの①( )側では、イの川の曲がりの②( )側より③( )作用が強いため、川岸は④( )られ、⑤( )になっているのがよく見られます。反対に、イの側では、アの側より、⑥( )作用が強くなっているため、細かな砂や小石が⑦( )し、⑧( )が形作られていきます。その結果、川の曲がりは、少しずつ曲がりを⑨( )ていきます。このようにして、くねくねと曲がっている様子を川の⑩( )といいます。また、このような曲がりが大きくなっていった場合、川の流れが変化して、曲がりの部分が取り残される場合があります。このようにしてできた湖をその形から、⑪( )といいます。

①       ②       ③

④       ⑤       ⑥

⑦       ⑧       ⑨

⑩       ⑪

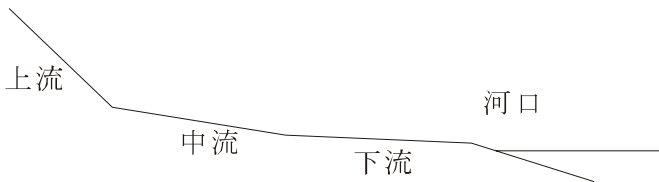
6 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

川が海に出る河口では、川はばは①( )くなり、川の流れは一段と②( )になります。そのため、③( )作用が強くなりたくさんの砂がたまって、流れの場所は一定せず、時々流れを変えるために、④( )と呼ばれる川にかこまれた三角形の土地が作られます。これはデルタとも呼ばれます。河口の海の中には、川が運んださまざまなものがつもり、潮が引くと現れる干潟(ひがた)なども作られています。

①       ②       ③

④

7 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。



左の図は、川の流れの様子を断面として示したものです。上流では、川の流れる斜面の①( )が急なので②( )作用はほとんど働かず、③( )作用と、この作用の結果作り出されたものを運ぶ、④( )作用が強くなり働き、⑤( )と呼ばれる地形が作られます。

山から、平野に入り中流となると、そこでは川の流れる斜面の⑥( )が急にゆるやかになるので、⑦( )作用が強くなり働きはじめ、⑧( )と呼ばれる地形が作られます。そして、平野では、川の流れの場所は少しずつ変化し、川は⑨( )していきます。これが大きくなると、もとの川が取り残されて、⑩( )と呼ばれる湖を作ります。そして、河口付近では、⑪( )作用の結果、⑫( )という地形が作られます。

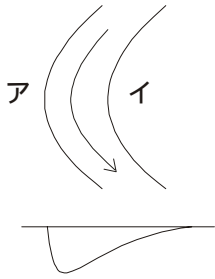
①       ②       ③

④       ⑤       ⑥

⑦       ⑧       ⑨

⑩       ⑪       ⑫

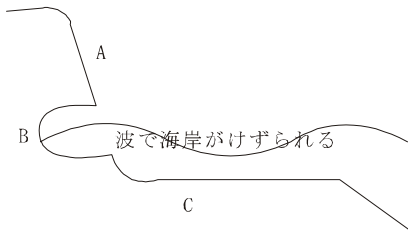
8 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。



左の図は川の曲がっているところと、その断面を示したものです。ア;川の曲がりの①( )側は、川の流れがぶつかるので、②( )作用が強くなるために、③( )になることが多く、このようなことによって、川底も深くえぐれて行きます。反対に、イ;川の曲がりの④( )側では、川の流れがほとんどなくなる部分ができるので、⑤( )作用が強くなる働き、細かな砂などがたまって、川の深さは⑥( )くなり、川岸には⑦( )が広がっていきます。

- ①       ②       ③
- ④       ⑤       ⑥
- ⑦

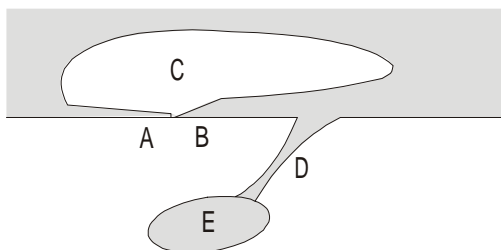
9 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。



左の図は海岸のがけの様子を示したものです。波の①( )作用の結果、海岸はAのようにけずられ②( )とよばれるがけができます。また、波が陸地の一部を大きくけずると、図のBのような③( )と呼ばれるどくつが作られたりします。そして、海底は図のCの様に平にけずられていて、この部分は④( )と呼ばれています。

- ①       ②       ③
- ④

10 次の文の( )の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。



左の図は海岸の地形を示したものです。AとBは①( )と呼ばれ、この2本のものがつながると②( )と呼ばれるようになります。このようにして、海の一部が陸地に取り残されるようになってできたCの湖を潟湖(かたこ)といいます。またEの島がDの③( )で陸とつながった島を陸繋島(りくけいとう)と呼びます。

- ①       ②       ③